

平成28年度 学校評価実施報告書

学校名(京都市立静原小学校)

1 1回目評価

・個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定			
分野	評価項目	(前年度評価を踏まえた) 自校の取組	(取組結果を検証する) アンケート項目・各種指標
確かな学力	授業改善 主体的に考え、表現し、伝え合える能力の育成 家庭学習の習慣化	各教科での言語活動のさらなる充実 全クラス授業公開の校内研究 学校だよりによる啓発活動	・児童の話す・聞く態度の変容 ・ジョイントプログラムの結果 ・平日は授業以外に平均何時間勉強していますか
	読書の習慣化	100冊読書の定着 朝読書の確実な実施	・平日は平均何時間家や図書館などで読書していますか
豊かな心	「公共の精神」に基づく態度の育成	・各活動で話し合いや協力の場を積極的に作る ・保護者・地域とのクリーンキャンペーンの実施	・友達や家族を大切にしていますか ・きまりをしっかりと守っていますか
	望ましい言葉づかい・進んで挨拶の徹底	児童会を中心とした発信と地域ぐるみの取組	子どもは望ましい言葉づかい・進んで挨拶ができていると思いますか
	協働活動を通じた豊かな心の育成	・各活動で話し合いや協力の場を積極的に作る ・保護者・地域とのクリーンキャンペーンの実施	・家の仕事の手伝いをしていますか ・きまりを守っていますか
健やかな体	自他を大切に する態度の育成	早寝・早起き・朝ごはんの呼びかけ 健やかチェック実施	就寝・起床時刻・朝ごはん食べているか
	体力の向上	・全校遊びやスポーツを通じた運動の習慣化 ・モーニングスポーツの取組	・自分からすすんで体を動かしていますか ・スポーツ参加状況及び体力テストの結果
独自の項目	学習環境整備・安全管理 地域と共に進める体験活動	・学校安全ボランティア登下校支援 ・校内整備点検の実施 ・農林業活動、環境学習等実施	・「学校は学習しやすいか、安全か」 ・体験学習の実施回数、内容
	情報発信の充実	積極的なホームページの更新	学校ホームページへのアクセス数



・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	
	評価日	平成28年10月6日
	評価者・組織	学校評価委員会
アンケート結果・各種指標結果	分析 (成果と課題)	分析を踏まえた改善策
・ジョイントプログラム5年の国語・算数は全市を5ポイント上回る。6年の国語は下回るが算数は大きく上回る。	・自分の考えを発表する場を意図的に多くしていることで主体的な聞き方ができるようになってきた。	・自ら進んで学習するように取組をすすめていること、キャリア教育の視点での目標も意識して個の見取りを進めていることによると考えられる。
・「学年×15分以上勉強している」児童の割合は78%	・「自ら勉強する」「忘れず学習に使うものを黙日する」70%程度と関係が深い	・「自ら勉強する」「忘れず学習に使うものを意図すること」を進んでしたくなるような指導をすすめる。
・9月の読書100冊以上達成は20%残りは、50冊を越えている。	・読書100冊への取組を進めてきている。本の種類に偏りがあるのでいろいろなジャンルも読むように進めていく。	・半年で50冊程度の児童の読書を促進するように働きかけていきたい。
・「できている」児童の割合は90%	・自分の掃除場所を決めて掃除に取り組み、教職員と共に活動していることによる効果と考える。	・自分のやるべきことの自覚のメニューを広げていく指導をする。
・「進んで挨拶する」児童の割合は、95%	・確実にあいさつをするように指導している。	・学校に来られる方との体験学習も多くなっている。感謝の気持ちを更に粗立てしていきたい。
・住んで掃除や仕事を「する」児童は90%。保護者から見た評価は33%。	・「そう思う」児童38%、「大体そう思う」児童52%というように、家でも進められる児童が38%である。	・掃除だけでなく、自分で気づいて実行に移せるように指導を進めていく。仕事をする意味の理解をすすめる。
・「学年相応の睡眠時間が取れている」児童の割合は82%	・早寝・早起き・朝ごはんができていく割合は90%を目指したい。	・健やかチェックの活用。保健室だけでなく、食育指導、栄養指導を煤がけていく。
・「運動したり遊んだりしている」児童の割合は90% ・参加児童数は約5割	・体を動かすことが好きな児童の割合が高まっている。	・朝の運動、中間マラソン等の運動時間を効果的に運動に使う。
・小中合同の研修を行った。 ・体験活動よかった、 ・地域行事参加の児童は90%越。教職員の指導、参加は80%、60%。	・体験活動等地域と共に進めている学習についての教職員の主体的な関わりにはばつきがある。	・体験活動等で児童にどんな力を付けるのかしっかりと考えて進めるようにしていきたい。
・アクセス数7500を超えている。・昨年総数14000と考えると昨年より増加。	・HPの更新数増加	・個の見取り、学習評価点検と運動させて取り組んでいく。



学校関係者評価	
評価日	平成28年10月21日
評価者 (いづれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
学校関係者による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
・児童のしっかり話す姿、外国の方にも物おじせず自然にコミュニケーションをとるなど取組の成果と考えられる。自分の思いや考えを発表する力はついている。 ・自分でやりきることの不十分さを感じる。	・コミュニケーションをとる場面の設定や相手として体験活動等の協力をしていきたい。最後まで考える子どもの育成、やり遂げるまで見守ることが大事である。 ・学校が目指している自覚の実行力という力が漠然としているのではない。より具体的な目標設定が必要ではないか。
・児童にとって学校が楽しいことは大切なことである。進んであいさつも90%を超えている。 ・中学で急に人数が増えて戸惑うかもしれないが、数か月もすれば慣れるので心配はない。 ・子どもが地域行事へ出演するようになったのは、当時のPTAが豊かな経験のために様々な発表の場を探し出演するようになった。	・楽しく学校生活を送ることにつながる体験活動のサポートをしていきたい。たくさん関わること、親しくなり、挨拶の声も元気になるでいこうと考える。多くの中で学ぶ経験として他校と交流、ICT活用テレビ会議などを取り入れればよい。 ・地域行事に参加するのは、教育活動としてどんなプラスがあるか考えて進めていきたい。
・子どもたちが元気に運動したり遊んだりしていいと思う。 ・子どもの塾通いが多くなっている。教師も子どもも忙しいと取組に影響しているのではないか。	・子どもたちが主体的に元気に運動したり遊んだりしていけるように育てていただく事は大事なことだと思う。 ・明確な目標設定とその共有が必要となるだろう。
・体験活動等地域と共に進める学習について児童と教職員とのギャップが大きい。教職員の自覚の実行力のレベル向上が必要。	・地域の行事を子どもの教育の中にどう位置づけるか明確にしていこうこと、休日の地域行事への参加が負担となるなら、地域も考え精選していくべき。地域が主体となって子どもたちにはたらきかけていけるようにしていきたい。

平成28年度 学校評価実施報告書

2 2回目評価

・個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定			
分野	評価項目	(1回目評価を踏まえた) 年度末までの取組	(取組結果を検証する) アンケート項目・ 各種指標
確かな学力	授業改善 主体的に考 え、自ら進んで 学習する児童 の育成 書く力の向上	各教科での言語活動のさらなる充実 全クラス授業公開の校内研究 問題解決学習の推進。書くことを特に意識した指導を進める。	・児童の自ら進んで学習する態度の変容 ・ジョイントプログラムの結果 ・ノートの活用の足跡点検 ・ジョイントプログラムの結果
	家庭学習、読者の習慣化	100冊読書の定着 朝読書の確実な実施	・家庭学習の時間確認 読書量の確認
豊かな心	「公共の精神」に基づく態度の育成・進んで挨拶の徹底	・各活動で話し合いや協力の場を積極的に作る ・保護者・地域とのクリーンキャンペーンの実施	。自他ともに大切にしていますか。 ・きまりや時刻を守っていますか。
	協働活動を通した豊かな心の育成	・各活動で話し合いや協力の場を積極的に作る ・保護者・地域とのクリーンキャンペーンの実施	・進んで掃除や自分の仕事をしていますか。
健やかな体	自他を大切にする態度の育成	早寝・早起き・朝ごはんの呼びかけ 健やかチェック実施	・健康や安全に気をつけて生活していますか。
	体力の向上	・全校遊びやスポーツを通した運動の習慣化 ・モーニングスポーツの取組	・元氣よく運動したり遊んでいますか。 ・マラソン大会での成果確認
独自の項目	自覚的実行力の推進	・主体的活動ができるように指導を進める。	・自覚的実行力を意識して生活していますか。 ・個の見取りを確実に意図的にする。

[illegible]

学校名()

[illegible]

3 総括・次年度の課題

--